

# 令和7年度 社会福祉法人ほのぼの会 事業計画

## I 法人重点課題

R6年度は、新型コロナ感染症が5類に移行したことに伴い、自粛していたわたしの会社祭りを5年ぶりに開催するなど、地域の方々との交流を取り戻すことができた。R7年度は、地域において併設ショッピングセンター「桜舎」「桜舎かふえ」「桜舎商店」スペースを活かし、社会福祉法人として地域の中で更に役割を果たしていけるよう、公益的活動に力を入れていきたい。

また、処遇改善加算の算定要件でもある業務改善及び働く環境改善を全体で検討し、より利用者の方のニーズ（個別化、高齢化等）に寄り添った支援ができるよう努める。特に生活介護事業所については、経営改善のためのスタッフ体制見直しに伴い、業務分担の見直しを行う。

共同生活援助事業所「ほのぼの荘」については、引き続き感染症対策等のリスク管理をしっかりと行いながら、利用者の方が安心して暮らせる生活環境整備に努める。空床が2床ある第2ほのぼの荘においては、短期入所の積極的な受け入れや、入居につながる体験の機会を提供する。また、保護者からのニーズが高まってきている週末帰省しない場合の勤務体制について、第1ほのぼの荘第2ほのぼの荘共に、職員の確保や人材育成等丁寧に検討する年にしたい。

## II 目標

### 1 支援活動

利用者の権利擁護を推進するとともに、利用者主体のサービス提供（利用者個人の意向を尊重した支援）に努める。

支援のための保護者との連携を大切にする。

### 2 地域との連携、交流

個別のニーズに応じた利用者支援のために、行政機関及び各種サービス提供事業所、医療機関等との連携を大切にする。

桜舎、桜舎かふえ、桜舎商店の運営を中心に、地域との交流の機会を充実させる。

ホームページ等SNSの運営管理、会報等による地域への情報発信をより積極的に行う。

### 3 衛生管理及び事故、防災対策の徹底

それぞれの対応マニュアルを職員、利用者、保護者で再度確認し合い、万が一に備える。

### 4 職員研修の実施

年間研修計画のもと事業所内外での職員研修を充実させ、日常的な支援の質の向上に努めるとともに、わたしの会社の理念と各事業への理解を深め、各事業展開に積極的に貢献できる人材育成を進める。

## III わたしの会社（生活介護事業所及び就労継続支援B型事業所）

### 【運営方針】

- 1 利用者の意思及び人格を尊重し、常にその者の立場に立ったサービスの提供に努める。
- 2 指定生活介護事業においては、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができ るよう、常時介護を要するものに対して、排せつ又は食事の介護、身辺自立援助、創作活動

又は生産活動の機会の提供その他の便宜を適切かつ効果的に行う。

- 3 指定就労継続支援B型事業においては、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、生産活動その他の機会の提供を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の必要な支援を適切かつ効果的に行う。
- 4 事業の実施に当たっては、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービス機関との連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。

#### 【事業内容】

##### 1 生活介護事業 (定員30名)

- (1) 個別支援計画の作成 (年2回)
- (2) 基本事業
  - ① 身体介護 (食事、排泄、衣類着脱、移動介助等)
  - ② 生産活動支援 (養鶏)
  - ③ 創作活動支援 (手織り、工作、絵画、園芸、音楽等)
  - ④ 接客、販売、配達、宣伝活動等支援
  - ⑤ 相談・情報提供 (医療、福祉、生活相談及び情報提供等)
  - ⑥ 社会適応訓練 (会話、外出、生活マナー等)
  - ⑦ スポーツ、レクリエーション
  - ⑧ 健康相談 (健康チェック、健康相談)
- (3) 送迎サービス
- (4) 居宅訪問サービス
- (5) 休日開所サービス

##### 2 就労継続支援B型事業 (定員10名)

- (1) 個別支援計画の作成 (年2回)
- (2) 基本事業
  - ① 生産活動支援 (調理)
  - ② 接客、販売、配達、宣伝活動等支援
  - ③ 創作活動支援 (手織り、工作、絵画、園芸、音楽等)
  - ④ 相談・情報提供 (医療、福祉、生活相談及び情報提供等)
  - ⑤ 社会適応訓練 (会話、外出、生活マナー等)
  - ⑥ スポーツ、レクリエーション
  - ⑦ 健康相談 (健康チェック、健康相談)
- (3) 送迎サービス
- (4) 居宅訪問サービス
- (5) 休日開所サービス

## IV ほのぼの荘（共同生活援助事業所及び空床利用型短期入所事業所）

### 【運営方針】

- 1 利用者の意思及び人格を尊重し、常にその者の立場に立ったサービスの提供に努める。
- 2 指定共同生活援助事業においては、利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、身体及び精神の状況並びにそのおかれている環境に応じて共同生活住居において入浴、排せつ及び食事等の介護、相談その他の日常生活上の支援を適切かつ効果的に行う。
- 3 指定空床利用型短期入所事業においては、居宅においてその介護を行う者の疾病その他の理由により短期間の入所を必要とする利用者の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、排せつ及び食事の介護その他の必要な保護を適切かつ効果的に行う。
- 4 事業の実施に当たっては、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービス機関との連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。
- 5 ほのぼの荘の地域連携を進めるために、町内の方々にほのぼの荘を知っていただく機会として普段の散歩や挨拶の他に、一斉清掃や町内会主催の夏祭りに積極的に参加する。また見学会や茶話会などを企画して交流を図るよう努める。

### 【事業内容】

#### 1 共同生活援助事業 第1ほのぼの荘（定員6名）及び第2ほのぼの荘（定員6名）

- (1) 個別支援計画の作成（年2回）
- (2) 基本事業
  - ① 食事提供
  - ② 身体介護（食事、排泄、入浴、衣類着脱、移動介助等）
  - ③ 健康管理の支援
  - ④ 金銭及び財産管理の支援
  - ⑤ 余暇利用の支援
  - ⑥ 緊急時の支援
  - ⑦ 相談・情報提供（医療、福祉、生活相談及び情報提供等）
  - ⑧ その他日常生活に必要な支援
- (3) 帰宅時支援
- (4) 日中支援

#### 2 空床利用型短期入所事業 第2ほのぼの荘

利用されていない指定共同生活援助事業所の居室等において、利用者に指定短期入所事業を行う。

- (1) 基本事業
  - ① 食事提供
  - ② 身体介護（食事、排泄、入浴、衣類着脱、移動介助等）
  - ③ 健康管理の支援
  - ④ 緊急時の支援
  - ⑤ その他日常生活に必要な支援
- (2) 送迎サービス